対話のルール

小さな交流会や対話交流セッションでは、
誰もが気持ちよく参加できるよう、以下のことに留意してください。

① 聞いた話は外で話さない、SNS等で発信しない
② 相手の話を批判・否定しない
③ 誹謗中傷、暴力行為は禁止
④ 話す時間を独り占めしない
⑤ 聴いているだけでもOK
⑥ 営業活動、政治活動、宗教団体などへの勧誘はしない

[参加にあたって]
●予期せぬ自然災害の発生等によってやむをえず開催を延期または中止する場合があります。
●本イベントでは新聞・テレビ等の取材を受け入れる場合があります。その際は参加者の方々のプライバシーならびに場の安心・安全に細心の配慮をします。
●上記の開催中止や取材等については、大阪府青少年支援課ホームページ及びひきこもりUX会議オフィシャルブログにてお知らせします。

※車いすの利用など配慮が必要な場合は開催市の担当課まで事前にお申し出ください。

• 問合せ先 •

大阪府福祉部子ども家庭局青少年支援課
TEL：06-6944-9147

講演会　対話交流イベント

①講演会［9月23日（水・祝）開催］
守口市 健康福祉部地域福祉課
TEL：06-6992-1570

②対話交流イベント［2月12日（金）開催］
枚方市 まるっとこどもセンター
TEL：072-841-1126

• 運営団体 •　一般社団法人ひきこもりUX会議とは

ひきこもりUX会議

不登校、ひきこもり、発達障がい、性的マイノリティの当事者・経験者らによって発足。当事者の視点から「生存戦略」の提案・発信を続けるクリエイティブチーム。

info@uxkaigi.jp　https://uxkaigi.jp/　@uxkaigi

本事業は、厚生労働省「令和８年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金」及び大阪府「子ども・若者チャレンジ応援自動販売機設置事業寄附金」を活用し、生活困窮者就労準備支援等事業（ひきこもり支援推進事業）及び青少年自立支援事業（居場所づくり事業）として実施しています。

人々が交差し、それぞれの歩みを進めるための
ひきこもりにまつわる合流分岐点

Junction

「ジャンクション」

「ひきこもり」をテーマにした講演会、対話交流イベントを開催します。

ずっとひきこもっていてどうしたらいいのかわからない、
身近な人が「ひきこもり」で心配だけど、どのように接したら良いのかわからないなど、
「ひきこもり」について正解が見えず悩んでいる人は少なくありません。

今年度も大阪府内で「ひきこもり」をテーマにした講演会と対話交流イベントをそれぞれ開催します。
外からは見えづらい当事者の思いを聞いたり、似たような状況にある人と話をすることで、
ひきこもりの当事者やご家族、支援者それぞれの気持ちに、少しだけ変化が訪れるかもしれません。
経験者による講演や参加者同士の交流を通じて、
誰もが安心して生きられる社会づくりのために一緒に考えてみませんか。

講演会

経験者が語る「ひきこもり・不登校」
～家族や支援者に伝えたいこと～ & 小さな交流会

日時　令和8年 9/23 水・祝　13:30-16:30［開場13:00］

会場　守口市立図書館
［守口市大日町2-14-10］

体験談と対話交流イベント

ひきこもりラウンジ in 枚方

日時　令和9年 2/12 金　13:30-16:30［開場13:00］

会場　枚方市立総合福祉会館 ラポールひらかた
［枚方市新町2-1-35］

参加費　どちらも 無料・申込不要
※当日、直接会場にお越しください

主催｜大阪府、守口市、枚方市
運営｜一般社団法人ひきこもりUX会議

詳細は中面へ ▶▶

令和8年
9/23水・祝
13:30-15:30

講演会 in 守口

講演会 **経験者が語る「ひきこもり・不登校」**

～家族や支援者に伝えたいこと～

不登校、ひきこもりの経験者が、その思いや家族、
望まれる支援の在り方についてお話します。

外からは見えづらい当事者の思いや、家族や支援者、身近な人ができることや考えてほしい視点について、不登校やひきこもりの経験者である中山遼さんにお話しいただきます。講演会の後半では、司会も加わり会場からの質問にお答えします。

日　時　令和8年9月23日［水・祝］13:30-15:30［開場13:00］

会　場　**守口市立図書館 4階多目的ホール**（守口市大日町2-14-10）
［Osaka Metro谷町線「大日駅」より徒歩5分、大阪モノレール「大日駅」より徒歩5分］

参加費　無料・予約不要。当日、直接会場にお越しください。
※途中参加・途中退出ご自由に
※気軽にご参加いただくために予約不要としていますが、会場が定める定員に達し次第、入場を制限する場合があります。
予めご了承ください。

対象者　ひきこもり当事者、ご家族、支援者、関心のある方等、どなたでも

定　員　200名



登壇者
中山 遼
（NPO法人あかね 代表理事）

小学生時代に5年間の不登校、高校生時代には約1年間のひきこもりを経験した元当事者。その原体験を生かし、25年以上にわたり不登校・ひきこもり支援を行う「NPO法人あかね」の代表理事を務める（同法人は2022年に山陽新聞賞を受賞）。あわせて、岡山市スクールカウンセラー、総社市ひきこもり支援等検討委員会委員、岡山フリースクール協議会会長に就任。子どもや若者、その家族に寄り添う支援に力を注いでいる。



司会進行
林 恭子
（ひきこもりUX会議
共同代表理事）

高校2年で不登校、20代半ばでひきこもりを経験する。2012年から当事者発信を開始し、イベント開催や講演、研修会の講師などの当事者活動を行っている。著書『ひきこもりの真実―就労より自立より大切なこと』（ちくま新書）他。

15:45~16:30（予定）
講演会後、「小さな交流会」を開催します

会場では、講演会終了後に交流会を開催します。ひきこもり当事者や経験者はもちろん、ご家族や支援者、地域の方など、ひきこもりに関心のある方で集まってみませんか。
「こんな状態にあるのは自分だけではないか」「何かできることはないだろうか」と思う方たち同士でお話する中で、気持ちが軽くなったり、つながりが生まれる時間になればと思っています。お気軽にご参加ください。

◎講演会終了後、スタッフから交流会の会場をご案内します。
◎1時間程度を予定しております。
◎途中退出・休憩は自由です。

令和9年
2/12金
13:30-16:30

体験談と対話交流イベント in 枚方

ひきこもりラウンジ

第1部でひきこもり体験談を聞き、
第2部で対話交流をする2部制のイベントです。

ひきこもりの当事者同士、ご家族同士、支援関係者同士がまずはリラックスして出会い、自分の思いを話してみたり、ほかの人の話を聞いたりして対話や交流をするイベントを開催します。

日　時　令和9年2月12日［金］13:30-16:30［開場13:00］

会　場　**枚方市立総合福祉会館ラポールひらかた 4階大研修室**
（枚方市新町2-1-35）［京阪本線・交野線「枚方市駅」より徒歩3分］

参加費　無料・予約不要。当日、直接会場にお越しください。
※途中参加・途中退出ご自由に
※気軽にご参加いただくために予約不要としていますが、会場が定める定員に達し次第、入場を制限する場合があります。
予めご了承ください。

タイムテーブル

※写真はイメージです。

第1部　13:30-14:15

オープニング&ひきこもり経験者による体験談
定員 80名　会場 枚方市立総合福祉会館 ラポールひらかた 4階大研修室

第2部　14:30-16:15

対話交流セッション
小グループに分かれて対話交流を行います。
会場ごとに参加条件・定員が異なるため、
［対象］［定員］をご確認のうえ、ご参加ください。



ひきこもり当事者会
対象　ひきこもり・生きづらさ等の当事者・経験者
定員　25名
会場　枚方市立総合福祉会館 ラポールひらかた 3階研修室2

ひきこもり女子会
対象　女性のひきこもり・生きづらさ等の当事者・経験者
定員　30名
会場　枚方市立総合福祉会館 ラポールひらかた 3階研修室1

つながる待合室
対象　ひきこもり状態のご家族がいる方、支援に携わっている方、「ひきこもり」に関心がある方（当事者の方も参加可）
定員　80名
会場　枚方市立総合福祉会館 ラポールひらかた 4階大研修室

16:15-16:30

クロージング
定員 80名　会場 枚方市立総合福祉会館 ラポールひらかた 4階大研修室

非交流スペース
会場　枚方市立総合福祉会館 ラポールひらかた 4階研修室4

※時間は目安です。当日、内容に変更がある場合があります。　※第2部は途中休憩を挟みながら行います。休憩時に他会場への移動も可能です。



第1部体験談スピーカー
高木 信洋さん

阪南市在住の35歳。2007年（15歳）より、10年ほどひきこもる。人との交流に支えられながら、時にはひきこもること、心の変化や人の持つ強さ、それぞれの歩んでいく人生のことなどを考えています。当事者団体『さなぎるど』でたまに活動中。